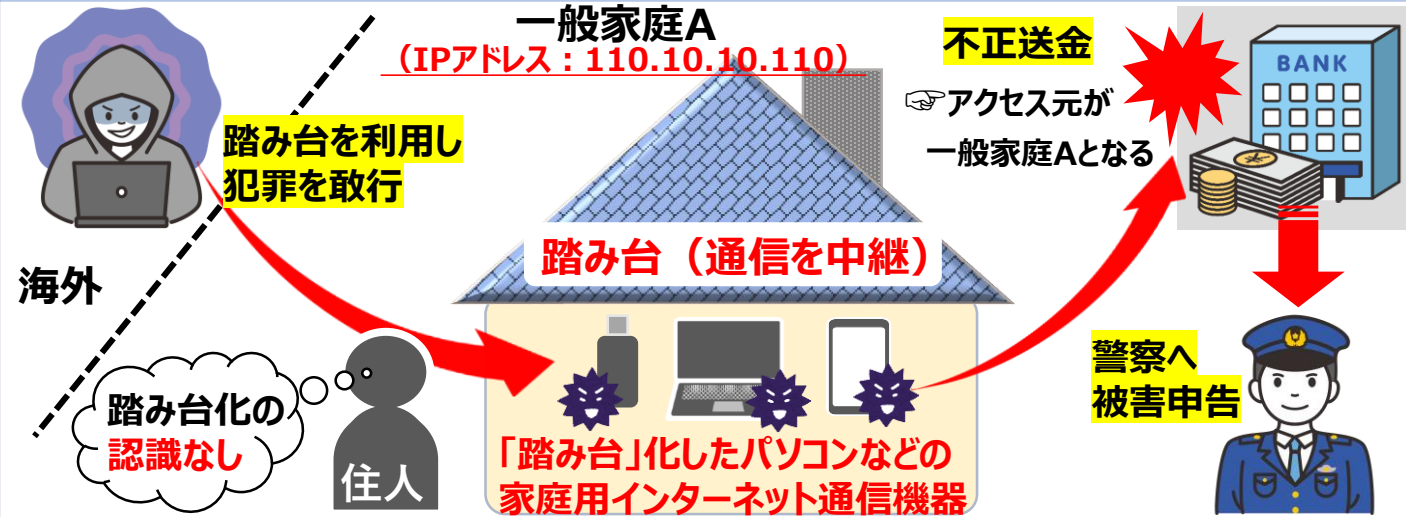


あなたの家のIoT機器が悪用されている！？

インターネットバンキング不正送金事案などで「踏み台」に！



どんな悪用事例がある？

【警察で確認】

- ・マルウェアに感染した家庭用パソコンやIoT機器が悪用
- ・プロキシサービスを通じて犯罪の踏み台になっていた

事例1 TV番組やインターネット配信の動画を視聴するためのIoT機器がマルウェアに感染し、不正送金の踏み台に悪用された

事例2 収益アプリ(余っているネット帯域を他者に共有して利益が得られる)をインストールし、他者へ自身のネット帯域を貸し出した→不正送金の踏み台に悪用された

自宅のIoT機器を悪用されないために…

【安価な製品利用のリスク】

- ・マルウェアに感染するおそれあり

【JC-STAR制度】

- ・最低限のセキュリティ基準を満たしたIoT製品にラベルを付与
- ・ラベル付きのIoT製品の利用を推奨



【フリーソフトやアプリのインストールのリスク】

- ・マルウェア感染の悪用

【対策】

- ・制作元をよく確認
- ・不審なソフトやアプリのインストールは行わない
- ・使用している機器のウイルスチェック
- ・使用しない機器のネットワークからの切断 など

もしかして悪用されている…？→不安があれば警察にご相談を

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口
アドレス(URL) <https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>



群馬県警察サイバーセンター
☎ 027-243-0110



警察庁
National Police Agency